

永野地区

| | | | | | | | | |
|----|---|------|---|------|---|--------|-----|-------|
| 人口 | 男 | 533人 | 女 | 523人 | 計 | 1,056人 | 世帯数 | 394世帯 |
|----|---|------|---|------|---|--------|-----|-------|

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 防犯カメラ設置事業【防犯】

自らの手で地域を守る意識と安心した生活の維持を図る。

防犯カメラ 5 台設置

② コミュニティ公園整備事業【住民交流】

地域のシンボルであるコミュニティ公園の再生を図ることで、地域住民の「自ら行なう」意識の醸成を図る。

既存木の剪定、花壇整備及び芝桜 7,000 ポット植栽、除草管理

③ 永野さくらまつり事業【住民交流】

永野のイメージアップを図り、住民の意識の向上やコミュニケーションづくり等の多くの刺激が地域を元気にして、活力を高める。

イルミネーション一式、テント・机・イスの購入

《収支決算》

【収入(円)】

| 費目 | H29 | H30 | H31/R1 | R2 | R3 | 計 |
|---------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 地域の夢補助金 | — | — | 4,816,314 | 1,686,105 | 1,513,553 | 7,997,972 |
| その他補助金 | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自己資金 | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | — | — | 4,816,314 | 1,686,105 | 1,513,553 | 7,997,972 |

【支出(円)】

| 事業 No | H29 | H30 | H31/R1 | R2 | R3 | 計 |
|-------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業① | — | — | 2,145,307 | 1,686,105 | 187,173 | 4,000,585 |
| 事業② | — | — | 2,671,007 | 0 | 187,000 | 2,858,007 |
| 事業③ | — | — | — | — | 1,139,380 | 1,139,380 |
| 計 | — | — | 4,816,314 | 1,686,105 | 1,513,553 | 7,997,972 |

《事業への取り組みを振り返って》

【令和元年度】

- ・地域の夢事業で取り組む具体的な事業内容と3か年計画が検討委員会、執行部会にて協議、決定された。
- ・地域の安心安全のため、永野地内へ出入口の部分に防犯カメラを3台設置すること、永野さくらまつり開催を目的に会場地であるコミュニティ公園の整備をすることが決定された。
- ・当初は、第1回さくら祭りの開催を令和3年3月に計画したが、公園内の樹木の整備、花壇に芝桜の植栽を行った結果、少しでも早くまつり開催を望む声が高まり、令和2年4月開催を目指した。
- ・台風19号の甚大なる被害が粟野地域全域で発生、また、未知の新型コロナの流行により、令和2年4月の永野さくらまつり中止が検討委員会にて決定された。



花壇整地



10月にシバザクラの苗を植栽



翌春のシバザクラ



まつりの舞台の準備完了

【令和 2 年度】

- ・令和 2 年 4 月のまつり中止が検討委員会にて決定されたが、2 年度内事業として令和 3 年 3 月のまつり開催を目指した。
- ・永野地区内への出入口付近に 3 台の防犯カメラを設置したが、永野地内でも防犯カメラの要望が高まり下永野、上永野地内それぞれ 1 台ずつ設置した。
- ・新型コロナの影響が収まる気配がなく、再度中止の決定をした。



巡査立会いの下、カメラの設置場所を決定



防犯カメラで安心安全確保

【令和 3 年度】

- ・令和 4 年 3 月にまつり開催を計画
- ・コミュニティ公園花壇の芝桜が一部枯れてしまった。赤、紫がほぼ全滅。一方白、ピンクの生育がしっかりしていることから、白とピンクの苗を購入し補植をする。
- ・台風 19 号で崩壊した久保田橋が、令和 4 年 1 月に全面復旧。2 年度に仮橋付近に設置した防犯カメラを新橋で撮影できる箇所に移動する。
- ・新型コロナの影響が収まる気配がなく、再再度中止の決定をした。



1 回目の除草(6月)



2 回目の除草と芝桜の捕植(10月)

【永野地区コミュニティ推進協議会 会長より】

地域の夢実現事業の目的は、地域の活性化と多くの方が協力して住みよい社会を作り出すことだと思います。

平成 29 年より 5 年間、本事業の目的を達成するため、コミュニティ推進協議会を中心に、検討委員会を立ち上げ、アンケート等を実施し、如何なる事業を取り組むべきか、検討してまいりました。

計画通り実施できた事業もありましたが、台風 19 号や新型コロナの影響があまりに大きく、成すすべもなく、イベント等を変更、中止せざるを得ない状況に、苛立ちを隠しきれませんでした。

今後についてですが、地域の夢事業で立ち上げた検討委員会を解散させないで、永野地区内の総合的なボランティア団体としてそのまま継承できないものかと考えております。

最後になりますが、鹿沼市をはじめ、ご協力いただいた検討委員会、実行委員会の多くの皆様方に改めて御礼を申し上げます。

永野地区コミュニティ推進協議会 会長 荒井勝美